

毎年恒例！環境学習の一環で工場見学

—高松市立国分寺南部小学校の第4学年の皆様—

10月18日（火）高松市立国分寺南部小学校 第4学年108名の皆さんが、国分寺工場に見学に来られました。

約3000個のスチール缶を四角くプレスしたスチールプレスを目の前にして、「大きい！」「何これ??」と驚きの声があがったり、その様子を上手にスケッチしたりと、興味津々な様子でした。

また、見学中は「くさい」と口にする子ども達も少なからずいました。このにおいの主な原因はペットボトルや缶の中身の飲み残し・容器包装プラスチックに付着した汚れや食べ残しからきています。

質問の時間では、事前に勉強をされていたこともあってか、「リサイクルに関わる会社で働いていて嬉しかったことはありますか?」「なぜ工場は民家から離れた場所や山の中にあるのですか?」など、一歩踏み込んだものが多く、また時間が足りないほどたくさんの質問を頂きました。興味関心を持って環境問題に向き合う姿勢に感動するとともに大変嬉しかったです。国分寺南部小学校の皆さん、ありがとうございました。



- ・ペットボトルや缶は中身を空にして水ですすいでから捨てること。
- ・お弁当やスナック菓子等のプラスチック容器包装は中身を空にして洗ってから捨てること。
- ・空き缶を灰皿やゴミ箱代わりにしないこと。

このちょっとした心がけによって、ペットボトルや缶・ビン・容器包装プラスチックが「資源」へと生まれ変わることができます。ご協力をよろしくお願いいたします。

